

# 図書館だより

2026年1月  
Vol.24  
大分県立看護科学大学  
図書委員会



## ◆◆◆ ご挨拶 ◆◆◆

図書委員会副委員長 堀 裕子

新年、おめでとうございます。

2026年は「午（うま）」年ですね。午年は勝負運や開運などのご利益があるとされています。国試や就職や日々の試験で、皆さんに良い運気が巡ってくると良いですね。また、馬は繋がりを求める動物で、人の雰囲気や感情に敏感に感じ取ります。この敏感さは、看護職として対象者の少しの変化を感じとれる感覚にも通じます。その感覚・感性を磨くためには、読書をお勧めします。1月は「午（うま）」に関する本が図書館で企画展示しています。「午（うま）」の感性の刺激を受けながら、知的好奇心を満たす読書を楽しんでください。

## ◆企画展示紹介 皆さんにおすすめしたい図書を集めて図書館入口に展示しています



## 馬と人の物語

2026年の干支は午。  
午年にちなんで馬が登場する小説や馬の絵本、写真集などを集めました。  
農耕や軍事、祭事など、古くから人の暮らしのそばには常に馬が寄り添っていました。  
馬と人之间には様々な物語があります。  
昨年話題になったドラマ「ロイヤルファミリー」でサラブレッドに興味を持った方も多いと思います。午年の新年、馬と人が紡ぐ物語の世界を覗いてみませんか。

## ◆ジェーン・オースティン生誕250年 雑誌架に展示しています



## ジェーン・オースティン生誕250年

ジェーン・オースティンは18世紀後半から19世紀にかけて活躍したイギリスを代表する作家です。1775年生まれのアースティンは2025年に生誕250年を迎えました。  
アースティンは当時のイギリスの地方中産階級の人々の結婚や人間関係、女性の自立などを鋭い観察力と繊細な筆致で描き、多くの人を魅了しました。  
「高慢と偏見」、「分別と多感」など、21世紀の現在も世界中で読み継がれている名作をこの機会にぜひ手に取ってみてください。

## ◆図書委員会おすすめ図書

新刊コーナーに展示しています

〈言語学〉 宮内 信治 先生

ゆる古代ギリシア哲学入門  
クセつよ逸話で学ぶ31人  
ネオ高等遊民【著】 中央公論新社



今から2500年ほど前に生きた古代ギリシアの哲学者が、宇宙とは、この世とは、人間とは何かという本質について考えた。その哲学者の生き様や時代背景が後世に語り継がれて「逸話」となった。この逸話が面白い。2500年たっても色あせていない。

逸話とひもづければアナクシメネス、アナクサゴラス、アナクシマンドロスの違いが分かる。21世紀の我々にとって、古典は古ければ古いほどいよいよ新しい人文知の宝庫。

〈図書館〉 中野 智子 さん

別府市誌：市制100周年記念 図鑑編  
別府市 プランニング大分



看護の本に関しては県内一を誇る図書館ですが、大分県の本も多数置いています。  
今回は、自然、歴史、温泉文化などを豊富な写真でまとめた「別府市誌(図鑑編)」

をご紹介します。歴史的な事件もあり、懐かしい風景もあり。現存していませんが、奈良の大仏よりも大きかった別府大仏の写真もあります。そんな大きな大仏様が県にあってびっくりですね。  
ゆっくりとページをめくりながら 私たちの街の歴史に触れてみませんか？

〈事務局〉 小野 逸郎 主幹

チ。ー地球の運動についてー  
魚豊【著】 小学館



地動説が異端とされた中世ヨーロッパ。本作は、命を懸けて真理を追究する人々を描く物語です。誰が生き残るか分からない予測不能な展開に、一気に引き込まれます。タイトルに込められた「チ(知・血・地)」を繋いで

いく壮絶な姿は、先人の歩みが現在の科学の礎となり、未来へ続くことを教えてくれます。  
残酷な拷問シーンの描写もあるため、苦手な方にはおすすめできませんが、気になった方は手に取ってみてください。全8巻。本校図書館にあります。

〈図書館〉 甲斐 史織 さん

木挽町のあだ討ち  
永井 紗耶子【著】 新潮社



ある雪の降る夜に、芝居小屋のそばで、美しい若侍による仇討ちがみごとに成し遂げられた。  
二年の後、縁者だというひとりの侍が仇討ちの顛末を知りたいと芝居小屋を訪れる。話を聞く相手それぞれにドラマが

あり、ラストに向かって複雑に絡み合います。  
江戸っ子の人情が武士の大義を見事に仕立て上げる、その様子を一緒に楽しんでほしいです。  
2026年2月にスクリーンでも公開予定です。ぜひ読んでみてください。

## ◆大型絵本のご案内



図書館では今年度新しく3冊の大型絵本を購入しました。大分の子育て中のパパたちが集まるサークル「おおいたパパクラブ」で活動中の精神看護学研究室後藤成人先生が、早速新しい大型絵本を使って“おおさいこどもルーム”等で読み聞かせを行いました。大型絵本を使った読み聞かせは子どもたちに大好評です。次号の図書館だよりでも読み聞かせの様子をお伝えしていきます。大型絵本の貸出をご希望の方は図書館カウンターまでお越しください。

読み聞かせする後藤成人先生



### 今年度購入した大型絵本



**れいぞうこ**  
新井洋行【作・絵】  
偕成社



**もぐらバス**  
佐藤雅彦【原案】  
うちのますみ【作・絵】  
偕成社



**へんしんトンネル**  
あきやまだし【作・絵】  
金の星社

## ◆職員からのメッセージ



元事務局 教務学生グループ 原田千夏 さん

親愛なる看護大の皆様、お元気ですか。

私はという・「人生はいつ終わるか分からない」。半年前、その言葉を痛感する出来事がありました。突然の入院、手術、退院後も続く治療。その中で私が頑張れたのは、間違いなく医療現場の方々のおかげでした。「手術後、辛そうで心配しました」と寄り添ってくれた看護師さん。入院中の何気ない話を覚えてくれていて、再診の時に「おさんの試合、見に行きましたか？」と気遣ってくれた一言。術後「よくなりますからね」と声をかけてくれたドクター。責任の重い大変な環境でも、いつも笑顔で接してくれる姿に触れ、「医療に携わる人たちは、なんてすごいのだろう」と感謝の気持ちでいっぱいでした。そのとき思い浮かんだのは、看護大で学ぶ皆さんのことです。私のように、医療現場の人々に救われる人は本当にたくさんいます。皆さんがこれから素敵な看護師さんとして羽ばたくことを心から願っています。さて、今日はアップルの創設者スティーブ・ジョブズの有名なスピーチの一節を紹介します。

“If today were the last day of my life, would I want to do what I am about to do today?”

—もし今日が人生最後の日だとしたら、いま自分がやろうとしていることを本当に選ぶだろうか—

今回の私の経験は、人生の価値観が変わるほど大きなものでした。あれから、毎朝この問いを自分に投げかけます。みなさんもどうか、かけがえのない「今」を大切に、後悔のない選択を重ねてください。

原田さんの紹介する  
ジョブズの言葉は  
この本に載っています



アップルはジョブズの「いたずら」から始まった  
井口耕二【著】日経BP

※新刊コーナーに  
展示しています

## ◆学生時代にお世話になった1冊

社会看護学研究室 持田 恵理 先生

思うとおりに歩めばいいのよ

ターシャ・テューダーの言葉

ターシャ・テューダー【著】食野 雅子【訳】KADOKAWA



スローライフに憧れていたものの、いざ自分の生活を振り返ってみると、あれもこれもと手を出し、その結果はすべて中途半端な混沌としたカオスな生活。満たされない自分を何かで埋めようとしていたのかもしれない。ターシャはそんな私に優しく語りかける。「思うとおりに歩めばいいのよ、焦ることなく、いまここにある幸せを感じながら身の丈に合った、地に足をつけた生き方がいいんだよ。」肩の力を抜いて生きる勇気をくれた私の人生の道しるべです。

看護アセスメント学研究室 三苫 美和 先生

深紅のバラを37本

高橋 穂世【著】日本看護協会出版会



学生時代、闘病記を読むという課題で1歳の子どものと36歳の夫が同時にがんを患い、その闘病を支え続けた妻の手記を手に入れました。夫が妻に「誰が、しりの穴まで拭いてくれるか。やはりお前でなければ」と、看護師には排泄ケアを任せられない、という思いを漏らす場面が強く心に残りました。患者さんと家族がどのような思いで闘病生活を送られているかを深く考えさせてくれる本です。

## ◆学生・教員からのメッセージ

◆1年生 上野 郁菜 さん◆

私は先日、資格検定の受験のために図書館を通じて学習に必要な本を購入していただきました。図書館は本を借りるだけでなく、このように個人の学びを深くサポートして下さる環境が整っているため安心して学習することができます。さらに、静かで集中できるスタディールームがあるためテスト前も学習しやすい環境が整っています。これからもこの環境を最大限活用して努力していきたいです。



◆保健室 時松 美香 先生◆

私が初めて図書館を利用したのは、まだ臨床経験も浅かった20代の頃でした。学外から仕事帰りや休みの日に利用していました。館内は広くて天井も高く、心地よい空間で、あれもこれもと本や雑誌を手にとって読んでいました。その後も行き詰ったり、調べたいことがあったりすると、足を運んでいました。私にとって図書館は、今でも心が和む場所であり、戸惑った時に解決の方向へ導いてくれる頼りになる場所です。



## ◆学外の方も図書館をご利用いただけます



本学は地域に開かれた大学として学外の方にも図書館を開放しています。看護関係の蔵書数は県内一で、医療、健康に関する多くの資料が揃っています。医療系の本以外にも本屋大賞受賞作など話題の小説もありますので、ぜひお気軽に本学図書館をご活用ください。



詳しい利用案内は  
こちらからご覧ください→



## ◆図書館カレンダー（2026年1月～3月）

図書館では土日・祝日に学部生・院生・卒業生・修了生を対象として休日開館を行っています。ぜひご利用ください。スケジュールは変更する場合がありますので最新情報はホームページでご確認ください。

□ 9時～20時 □ 9時～17時 □ 9時～15時（入試準備のため） □ 休館日  
■ 10時～18時（土日祝日の開館日は学内者・卒業生・修了生のみ利用可能です）

2026年1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

※2/27～3/5は蔵書点検のため休館です

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

図書館だより Vol.24 2026年1月発行 大分県立看護科学大学図書委員会

大分県立看護科学大学附属図書館

TEL 097-586-4330 FAX 097-586-4373

E-mail: library@oita-nhs.ac.jp

URL: http://www.oita-nhs.ac.jp/library/